

学校運営方針		学校運営計画(4月)		評価(3月)	
昨年度の成果と課題		年度重点目標		具体的目標	
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立(遅刻欠席数の減少)</li> <li>・自学自習の習慣化、及び資格取得の増加</li> <li>・コンテスト、競技大会等、ものづくり活動での実績</li> <li>・生徒会を中心とした生徒全体の学校行事への主体的取組</li> <li>・企業及び大学等の情報収集と的確な指導による進路指導の充実</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全クラスでの肅然とした授業規律の確立、意欲的な学習態度の育成</li> <li>・学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善の推進</li> <li>・自己指導能力の育成と生徒会活動等、生徒の主体的活動のさらなる推進</li> <li>・「学校いじめ防止基本方針」に基づく、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応</li> <li>・資格取得、「ものづくり」教育、知的財産教育の充実</li> <li>・進路指導(ガイダンス、インターンシップ)の充実</li> <li>・キャリア教育指導計画に基づく、各部署と連携した体系的・系統的なキャリア教育の推進</li> </ul>		<p>社会的自立の基盤となる、学力、体力、豊かな心を培うとともに、社会の変化に対応し、社会に「知恩感謝」の念を持ち、社会を支え、その発展に寄与する力を有したグローバルな工業技術者の育成を図る。</p>		<p>1 授業改善への積極的な取組によるアクティブラーニングの推進</p> <p>2 「創作工夫」の心構えを持ち、新しい事へのチャレンジ精神を育成する教育活動の推進</p> <p>3 生徒会活動やものづくり活動における生徒の主体的取組の支援</p> <p>4 全ての教育活動における「知恩感謝」の念と自己指導能力の育成</p> <p>5 「学校いじめ防止基本方針」に基づく、組織的・継続的な、いじめ防止への取組の推進</p> <p>6 キャリア教育指導計画に基づく、体系的、系統的指導とインターンシップの充実</p> <p>7 生徒一人ひとりに対するカウンセリングや進路実現に向けてのアドバイスの強化</p> <p>8 グローバル人材の育成という視点に立った工業教育の推進</p> <p>9 ICT機器の活用による情報リテラシー教育の充実</p> <p>10 体育祭、三工祭をはじめとする学校行事の外部への公開と広報活動の推進</p>	
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題	
教務部	工業技術者の育成と自ら学ぶ力の向上	各教科、担任、学年、生徒育成部、進路指導部と連携し、授業規律の確立と意欲的な学習態度の育成を図る。 自学自習やワンウィークトライアル等の効果的な活用と基礎学力定着の計画及び実施により基礎学力の向上を図る。 アクティブラーニングやICT(情報通信技術)機器の活用を推進し、生徒が主体的・対話的な深い学びを通してたくましく生きる力を育成する。 各教科、担任、保護者との協力体制のもと成績改善を要する者に対する丁寧な指導を行い、成績の改善・学力の向上を図る。 全教科を通して、道徳教育の推進およびコミュニケーション能力の育成を図る。 3系4クラス5学科の特色を活かして、幅広い基礎知識を身に付けさせ、「ものづくり」等の実践の基礎を育成し、地域貢献活動を支援する。			
	教科指導と生徒指導の支援	授業アンケートを実施し、授業改善に向けた資料提供等の支援を行う。 生活アンケートを実施し、生徒の日常の学習状況を把握し、生徒理解・指導の資料として活用する。 出欠状況の統計をとり、欠席等の多い生徒については、関係職員と連携し継続的な指導を行う。 定期考査の計画・実施を円滑に行い、教室の整備、監督の徹底等を図り、公正確保に努める。 各種資格取得の推進を図り、取得状況の把握を行う。			
図書課	図書利用を通して、知に親しむ生徒の育成	図書館をインターネットとは異なる利点を持つ情報の入手経路として位置づけ、昨年以上に授業での活用や日常の来館者の増加を図り、貸し出しの促進のため、レファレンス対応や広報等の工夫をする。 学習活動に必要な蔵書等の資料を充実させるとともに、図書館相互貸借等を利用して資料を集める。 朝の10分間読書に継続して取り組み、読書に親しむ雰囲気醸成する。 図書委員会活動をサポートし、各種研修会等への積極的な参加を促す。			
	生徒指導課	生徒指導 ・自己指導能力の育成 ・いじめ防止への取組の推進 交通指導 ・交通安全マナーの徹底 生徒会活動 ・主体的取組の支援・清掃の徹底 ・学校行事の活性化	生徒に帰風意識を持たせ、チーム三工の一員として自覚ある行動がとれるように援助し、自己指導能力の育成を図る。 挨拶・返事・校歌斉唱等、「知恩感謝」の念を持ち自ら自信を持って行えるよう育成する。 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ問題の未然防止、早期発見、早期対応の組織的な取組みを徹底する。 交通教室や登下校指導を計画的に行い、生徒への交通安全・マナーの指導を徹底する。 自転車通学者に対して、自転車のステッカー指導や安全点検を実施する。 各委員会に責任を持たせ、具体的方策を立て取組ませることで、主体的運営の促進を図る。 清掃委員会を中心に、定期的に強化週間・重点区域を設け、校内清掃の徹底を図る。 学校行事においては、外部への公開と広報活動を推進し、地域に関わられた学校づくりを目指す。		
生徒育成部	保健課	健康な心身の育成及び自己管理ができる生徒の育成 生徒保健委員会の活性化	各学年ごとの個人面談を実施し、その中で生徒の状況把握、教員との繋がり構築を行い、教員全体で生徒を見守る体制を作る。 保健室来室の生徒の状況を把握し、担任だけでなくSC・訪問相談員などとの関わりを通して、適切な指導を行う。 校内の水質検査・消毒液の補充等、環境衛生面の整備を図ると共に、保健便りにより感染症予防の啓発を図る。 委員会活動の充実を図り、学校を引っ張るリーダーの育成と学校衛生面への貢献を目指す。		
	保健指導、安全指導の充実	健康診断において疾病の恐れのある生徒に治療勧告を行い、自己の健康管理を促すと共に、疾病予防の指導を行う。 薬物乱用防止などの各種講演会を実施し、正しい知識と強い意志、いのちの大切さや他人を尊重する考えを身に付けさせる。 進路に対する早期の意識づけを図り、生徒一人ひとりに対しカウンセリングや進路実現に向けてのアドバイスを行う。 進学希望者にはオープンキャンパスや説明会への参加を促し、早い時期から志望校対策ができるよう意識向上を図る。 就職選考試験一次応募での合格率90%以上を目指す。 地元・県内・県外の企業訪問を行い、企業が求める人材や仕事内容等を直接聞くことにより進路指導に生かす。			
進路指導部	進路希望の実現	地元・県内・県外の企業訪問を行い、企業が求める人材や仕事内容等を直接聞くことにより進路指導に生かす。 望ましい職業観・勤労観、及び職業に関する知識や技能を身につけさせる。 工場見学・職場見学等を十分に生かし、生徒が適性に合った企業を選択できる能力を養う。			
	企業が求める人材育成	社会常識とマナーの育成 ・コミュニケーション能力の向上 ・IT活用能力の育成	社会常識を培わせ、「心のこもった挨拶」「感謝する心」「自ら環境整備(整理・整頓)を行える力」を育成する。 環境や目的に応じて自らの意志を相手に伝える力(コミュニケーション能力)の向上を図る。 進路指導室でパソコンを開放し、インターネットを活用した企業情報、求人情報、進学情報の収集等、IT活用能力を育成する。		



評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	次年度の主な課題
メカトロニクス系	電子機械科	検定・資格取得の推進	資格・検定試験へ生徒自らが主体的にチャレンジし、ジュニアマイスター認定11名以上(昨年10名)をめざす。	
		ものづくりを通した学習指導	専門知識と技術の深化・統合化をはかるとともに、学ぶ意欲や自学力の向上を図る。	
	あらゆる機会を捉えての生徒指導	ものづくりコンテストの上位入賞および、技能検定の取得を目指し、技術力の向上を図る。 実習などのあらゆる機会において、安全教育と整理整頓の徹底(工具管理、清掃)を図る。		
	情報電子科	規範意識の醸成に向けた指導。	礼儀正しく元気な挨拶、服装頭髪を整え遅刻欠席を減らす等、機会あるごとに指導し、精勤・皆勤者8割以上をめざす。 科・系職員間での情報交換を密にし、生徒理解に努め、積極的な生徒指導を行う。	
基礎学力の向上と目標の進路実現。		規則正しい生活習慣を身につけさせ、毎日の体調管理を考えさせる。(前年度より皆勤の人数を増) 時間の厳守・身だしなみ・清掃・挨拶・言葉使い等の徹底した指導を行う。		
社会基盤系	土木科	企業が求める人材の育成。	自宅学習の習慣化を図り、基礎学力を向上させ、応用問題、技術に繋がる力を養う。 企業情報収集能力の育成を行い、進路目標を持たせ、目標達成のための計画と取り組みを実行させる。	
		思いやりの心を持つたくましい人材の育成	実習等で基礎的技術力を身につけさせ、ロードレースや体育祭等でチームワーク、コミュニケーション能力の重要性を理解させる。 各種の資格取得者増を目標に指導を行い、企業が求める人材をよく理解させ、仕事人としての心を養う。 学校行事を通して、チームワークや思いやりの心を身に付けさせる。	
	確かな学力を身に付けさせ、進路実現を図る	挨拶や服装を整えさせマナーの向上を図る。 5Sの徹底(整理・整頓・清潔・清掃・しつけ) 時間の大切さを教え、皆勤率の増加を図る。		
	土木技術者の育成と広報活動の向上	分かりやすい授業になるよう工夫改善を図り、個に応じた指導を行なう。 企業訪問等の資料を活用して、各生徒に応じた進路指導を行ない、一次合格率の向上を図る。 期課外を充実させ、公務員合格者の増加と学力の向上を目指す。 補習授業を充実させ、測量士補、2級土木施工管理技士の国家試験合格者の増加を図る。		
工業化学科	基本的な生活習慣と規範意識の確立	測量競技大会や、つまようじタワーコンテストにおいて上位入賞を目指す。 ホームページの更新を適宜行い、広報活動に力を入れる。		
	確かな学力の育成と進路実現に向けたキャリア教育の充実	基本的な生活習慣を確立させ、遅刻・欠席を減らし、精勤率・皆勤率合わせて70%を目指す。 頭髪・服装、挨拶・言葉使いなど規範意識と礼節を重んじる態度を育成する。 生徒が学校に誇りを持ち、意欲的な学習態度が育成されるよう、科の職員全員で指導に取り組む。		
	創作工夫と主体的な行動のできる化学技術者の育成	授業・実習・課題研究の改善に積極的に取り組み、主体的・対話的で深い学びと基礎学力の向上を目指す。 面談・面接指導等、生徒の希望と適性に応じた進路指導を充実させ、進路実現(第一希望100%)を目指す。 1年生からキャリア教育を体系的・系統的に推進し、進路目標に向けて努力する学校生活の実現を目指す。 中学生へのアピール、1年生への指導とアピールをさらに充実させ、工業化学科の希望者を増やす。 資格取得において組織的・系統的な指導を推進し、危険物取扱者・高圧ガス製造保安責任者の合格者を増やす。 ものづくりコンテスト福岡県大会化学分析部門において、科の職員全員で指導を行い優勝を目指す。		